

かんしん

2023/July

7月

令和5年7月発行

高品質なオーガニック野菜を安定供給



園田 幸男 (ゆきお さいき)

サガンベジ
MADE IN TSUKI SAGA

○経営品目

- 有機JAS認証 葉物野菜 21品目 93a
- 水稲 (無農薬・無化学肥料) 92a

園田幸男さんが代表を務める「株式会社 サガンベジ」は2014年にみやき町で設立されました。栽培する野菜21品目で「有機JAS認証」を受けています。化学肥料や農薬は一切使用せず、こだわりの堆肥を使って、環境にもやさしい安心・安全な農産物を多くの消費者に届けています。また、消費者との良好な関係づくりのために、定期的に交流イベントを開催されており、さらには海外輸出も手掛けられています。

「まずは顧客ニーズを知り、何をどのようにつくるべきか」という考えを大切にして、販路を自ら切り開き、経営力のある農業を実現されています。

「有機野菜を多くの人に知ってもらい、買って食べてもらいたい。そして、有機野菜を作る仲間を増やしていきたい」と語る園田さんのますますの活躍が期待されます。

●発行/東部農林事務所 三神農業振興センター
〒849-0123 佐賀県三養基郡上峰町坊所 112-1 TEL0952-52-1231 FAX0952-52-1478

●Eメール: toubunourin@pref.saga.lg.jp

「為せば成る」シリーズ⑭



みやき町 小林 慎侑 4Hクラブ会長

令和5年度、三神地区4Hクラブの会長の小林慎侑です。就農して今年で10年になります。就農当初はカーネーションのみでしたが、平成28年からシンテッポウユリ「鳥巢の白蕾」の平坦地栽培に挑戦しています。



「鳥巢の白蕾」は準高冷地の唐津市鳥巢地区で育成されたオリジナル品種です。初めての平坦地での栽培で、当初は高温障害で枯れてしまつたなど多くの失敗もありましたが、鳥巢地区の生産者や4Hクラブの仲間のアドバイスと励ましもあり、現在では「鳥巢の白蕾」の平坦地栽培技術を確立し、鳥巢地区と平坦地のリレー出荷を実現しています。今後は、欠株出荷口入を減らすことを課題として検討しています。

これからも引き続き、意欲的な4Hクラブ員ともに地域を盛り上げていきたいと思つています。



令和6年度 佐賀県農業大学校学生募集 【定員50名】

COLORFUL CAMPUS 農大!

推薦入試試験日:
令和5年 10月10日

一般入試(一次募集):
令和5年 12月8日

一般入試(二次募集):
令和6年 2月16日

◎詳しくは 佐賀県農業大学校 0952-45-2144

オープンキャンパス 7.2・8.26

7.26 9.4・9.19 11.6・11.22 1.9・2.16 10.10 12.8 2.16

QRコード

管内の堆肥利用に興味がある方は、三神農業振興センター畜産担当まで連絡するか、下記QRコードを参照して下さい。

QRコード

管内の畜産堆肥を 利用してみませんか

良質堆肥の活用促進のため、県では今年も「佐賀県FUNBAL堆肥コンクール」を開催しています。昨年度の堆肥コンクール出品者は県HPに掲載されており、管内からは大塚裕子さん(みやき町・和牛肥育)が優良賞に選出されました。堆肥コンクール出品者の堆肥は、発芽試験やNPK等の成分分析が済んでおり、化学肥料の削減や土づくりに大きな効果が期待できます。

管内の堆肥利用に興味がある方は、三神農業振興センター畜産担当まで連絡するか、下記QRコードを参照して下さい。

職員紹介

※佐賀県農業振興センターに常駐(果樹担当)

佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)
佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)	佐賀県農業振興センター 常駐(果樹担当)

山本智史 (R5.1月転出)→唐津農林事務所へ
梅下千香、高須陽介→佐賀県農業振興センターへ
中田舞、梶原陽菜→東松浦農業振興センターへ

草場直→農業大学校へ
百武千文→農業技術防除センターへ
安西隆、吉田将登→退職